

# 世阿弥自筆能本『阿古屋松』

## 語彙総索引稿

金子 彰

編

金子 悠・川野絵梨・坂本春菜・佐野佳矢乃・武内かおり  
箕輪彩乃・宮地恵実・秋元 薫・島本 彩

### 語彙総索引 凡例

一、本語彙総索引稿は、世阿弥自筆能本『阿古屋松』（観世文庫蔵、応永三十四年 奥書）に用いられている総ての語を、次の複製本によって作成した翻字本文に基づいて収めたものである。

『世阿弥自筆能本集 影印篇』（月曜会編、一九九七年、岩波書店）掲載の写真版。

なお、翻字本文作成には以下のものも参照した。

『世阿弥自筆能本集 校訂篇』（月曜会編、一九九七年、岩波書店）

一、本語彙総索引稿は、能本『阿古屋松』本文篇と、語彙総索引篇、更に能演出上の注記類篇とに分けて掲出した。

#### 一、見出し語について

1、見出し語は、平仮名で歴史的仮名遣（字音語は字音仮名遣）を原則に統一した。読みは世阿弥の濁音符に依ったが、濁音符の見られない語は私に濁点を付した。

2、排列は、最終音節までの五十音順とした。

3、参照項目を設け、複合語の低位要素からも検索出来るようにした。又、接頭語、接尾語も空見出しとし、そこからその要素を含む単語を本項目として参照することが出来るようにした。

4、見出し語は、単語を原則とした。

a、動作性の漢語にサ変動詞「す」の付いた形は一語として扱った。

b、状態性の漢語に「なり」の付いた形は二語として、漢語

に助動詞「なり」の付いた形として扱った。但し和語を語幹とする所謂形容動詞は、一語として認めた。

一、用例について

1、用例は底本の文字に忠実を旨としたが、現行の表記様式に直して掲出したものもある。

a、本文の欠損字は□で示した。

b、二字の踊り字は底本通りに「く」で示し、本総索引稿は横組み掲載のため「く」の字体として掲出している。

c、本文に濁音符のある語はそれを掲出し、濁音符のない語は私に濁点を付すことはしなかった。

d、声点は当該字の下に(上)のように示した。49行「サ

(上)ノ(上)ミナ(上)」、51行「ヒ(上)ト(上)」、55

行「ミ(上)チ(上)ノクノ」、63行「カ(上)エ(上)

ル」、「ソナタカ(上)」、88行「アネワノ(上)」、89行「ア

コ(上)ヤ(上)ノ(上)」、91行「ナ(上)タ(上)カキ」。

e、本文の分ち書きは底本通りに採録することに努めた。

2、本行の抹消箇所の語句には傍線を引き、「墨消」「ミセケチ」「重ネ書」等と注記した。

3、本行の右傍に補入の語句は「右傍」と注記した。

4、用例の引用は、以下の通りとした。

a、自立語、付属語も原則として当該語のみを示したが、文脈を考慮してその前後をも掲げたものもある。

b、複合語は多く認める方針で掲出した。

5、用例の所在は、当該語が出現する底本の通し行数を算用数字で示した。

6、用例の排列基準は以下の通りとした。

a、無活用語は、出現順に排列した。

b、活用語は、未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形の順に排列した。

c、同一単語で用例の表記が全く同じ場合には、初用例の下にまとめて示した。

7、役の交替を示すと見られる鉤印「へ」は索引掲出の語には付さなかった

一、注記類について

1、本文の右傍に注された能演出上の節付、役名、小段名的な

注記、演出注記等を別置して採録し、出現行数を掲げた。但

し、小段名的注記の「㊦」は諸説が存するが、『世阿弥自筆

能本集 校訂篇』の読みに従った。

2、注記類の語は、分割しないで示された通りに掲出した。

- 3、以下は注記類で採録した。2行「サネカタ 二三人 出へシ」、11行「タキ、ヲニナウヘシ」、27行「カエルヲトムヘシ」、34行「カエリカ、リテ立テ云ヘシ」、64行「ヲカシシカく」、90行「舞アルヘシ 大コ」、93行「舞ヘシ 和哥一聲」。

## 翻字本文 凡例

一、翻字本文は、以下の通りに底本の文字に忠実を旨とした。

- 1、行取りや改行。
- 2、漢字と仮名の別、送り仮名。
- 3、片仮名の小字書き「ッ」等。
- 4、本文の分かち書き。(分かち書きのスペースについては任意の判断とした。)
- 5、濁点符号や、朱区切り点「・」。
- 6、声点は当該字の下に(上)のように示した。
- 7、二字の踊り字は底本通りに「く」で示し、繰り返しの語を( )に補入して示した。

- 8、本文の右肩の節付、役名、小段名的な注記、演出注記等。
- 9、役の交替を示すと見られる鉤印「へ」。

一、翻字上、現行の表記様式に直して掲載したものは次の通りで

ある。

- 1、漢字の異体字等。
- 2、片仮名の字体で底本の「\・子・マ」等を「キ・ネ・ホ」等に掲載した。

一、本文で欠損、抹消の訂正字の箇所は以下の通りに注記した。

- 1、本文の欠損字は□で示した。
- 2、本行の墨消しや抹消箇所には「墨消」「ミセケチ」等と注記し、当該箇所に右傍線を引いた。
- 3、本行の右傍に補入された語句は右傍に翻字して示した。

尚、本語彙総索引稿は、二〇一三年度の東京女子大学大学院の日本語史研究Ⅱ・日本語史特論Ⅱの受講生と教員との協同作業によって成ったものである。

世阿弥自筆本の語彙総索引稿には別に左記を公刊している。

世阿弥自筆 『風姿花伝』 卷第六 語彙総索引稿

(金子彰編 『東京女子大学日本文学』 第四百号、二〇〇八年三月)

世阿弥自筆能本 『柏崎』 語彙総索引稿

(金子彰・飯沼千智編 新潟県ことばの会「ことばとくらし」第二十号、二〇〇八年十一月)

世阿弥自筆能本『盛久』 語彙総索引稿

(金子彰・谷川淳子編『東京女子大学日本文学』第百五号、二〇〇九年三月)

世阿弥自筆『金春禪竹宛書状』 語彙総索引稿

(金子彰編 新潟県ことばの会『ことばとくらし』第二十一号、二〇〇九年十一月)

世阿弥自筆能本『難波梅』 語彙総索引稿

(金子彰・宮本淳子編『東京女子大学日本文学』第百六号、二〇一〇年三月)

世阿弥自筆能本『松浦之能』 語彙総索引稿

(金子彰・宮本淳子・石黒のぞみ編『東京女子大学日本文学』第百七号、二〇一一年三月)

世阿弥自筆能本『江口』 語彙総索引稿

(金子彰・石黒のぞみ編 新潟県ことばの会『ことばとくらし』第二十三号、二〇一一年十一月)

世阿弥自筆能本『雲林院』 語彙総索引稿

(金子彰・富田千晴編 新潟県ことばの会『ことばとくらし』第二十四号、二〇一二年十月)

世阿弥『金鳥書』 語彙総索引稿

(金子彰・後藤貴子・金子紀子・渡邊舞編 新潟県ことば

の会『ことばとくらし』第二十五号、二〇一三年十月)

世阿弥自筆能本『多度津左衛門』 語彙総索引稿

(金子彰・富田千晴編『東京女子大学日本文学』第百十号、二〇一四年三月)

世阿弥自筆能本『布留』 語彙総索引稿

(金子彰・富田千晴・石黒のぞみ編 新潟県ことばの会『ことばとくらし』第二十六号、二〇一四年十月)

1 入アコヤノ松之能 浅文風之曲(朱)

2 サネカタ 二三人 出ヘシ

3 次第 四方ノ山ナミ シクレユク・(四方ノ山ナミ シクレユク)・コスエノ アキヲ タツネン

4 <sup>□□</sup>事 ○ソモく コレワ シユシヤクインニ ツカエタテマツル・チウジヤウ サネカタトワ我

5 事也・ワレサル事アリテ ムツノクニ、クタリ・シハラクノザイコクナリ・

6 イマワコロシモ ナカ月ナリ・モミチノサカリニテ候ヘハ・アタリノ山く(ラメクリテ

7 ナカメハヤト存候 <sup>同音ウタ</sup>シノフ山 シノヒテ カヨウ ミチモカナ (シノヒテ カヨウ ミチモカナ)サソアマサ

8 カル 人コ、ロ ・ヨシ、ラストモ イツシカト ナレテハサソナ ミチノクノ ・アサ

9 カノヌマノハナカツミ カツミル人や友ナラン く(カツミル人や友ナラン) <sup>コトハサネカタ</sup>アレニミエタル ラウジン

10 山ヒトコサメレ ・チカウキタレ タツヌヘキシサイアリ <sup>ツレタル人</sup>アノ山人コナタエマイリ候ヘ

11 ・タキ、ヲニナウヘシ

12 <sup>サシコエセウ</sup>アレナル山人ワ ニカ、ロキカ イエチニイソクカ ・アラシノサムサニ トクユクカ ・ヲナシ山<sup>□□</sup>(右傍補入)

13 イラハ ヲナシカサシノ キヲコレトコソユウニ ツレテユケ <sup>一</sup>カサナルミネノコス

14 エヨリ ・クモヲモ <sup>クルクル(朱)</sup>シノグ ・山チカナ <sup>二句</sup>クル(朱)タキ、ノシハシヤスムトモ・アキノヒカケン

15 ・コ、ロセヨ <sup>サシコエ</sup>ヲク山ノ イワカキモミチ、リスヘシ・テルヒノヒカリ ミルコト ナクテ・



- 31 <sup>サネ</sup> へナニト申ソ・アコ(右傍)ヤノマツワ・ムカシワ タウコク・タウジワ デワニアルトヤ <sup>セウ</sup> へサン候
- 32 <sup>サネ</sup> へフシキノコトヲ申モノカナ・ソモくヒサシキ 名所ノマツノ・ムカシワタウコク・イマハ (第一紙)
- 33 マタ・タコクノ デワニアルヘキモノカ・トニモカクニモ ヲカシキ ゼウトテ・ミナ 一ドウニ
- 34 .カエリカ、リテ立テ云ヘシ
- 35 ワライケレハ・<sup>セウ</sup> へアラ御ウタテシヤ モトヨリモ・ミワ心ナキ ヤマガツノ・ライヒカミ
- 36 タル ヲキナサヒ・カシラワシロク イロワクロキ <sup>ウタウ</sup> . ヤマカラス・ヒトナワラワセ 給ソヨ・
- 37 <sup>同音</sup> .ヒトナワラワセ 給ソヨ・イサゴニ コカネ デイニハチス・ニコリニ <sup>クル(朱)</sup> シマヌモ ヒトノ心ニ
- 38 ヨルモノヲト・ユウシモノヲキナクサノ・ハラタテル ケシキニテ 御マエチカク アヨミ
- 39 ヨリテ・<sup>下(朱)</sup> アコヤノマツノ アリ所イサヤ 申サン <sup>セウコトハ</sup> へアコヤノマツノ ムカシワ タウゴク
- 40 タウジワ デワニ候 イワレヲ 申候ワン <sup>サネ</sup> へイワレアラハ トクく申候へ
- 41 <sup>セウ</sup> へソモくニホンゴクワ・ムカシワ 三十三ガコクニテ候ケルトナウ <sup>サネ</sup> へナカコロヨリ六十
- 42 六カコクニワ ワカタレタリ <sup>セウ</sup> へサレハコソ・三十三ガコクニテ アリシトキハ・デワ
- 43 ムツノクニワ 一コクナレハ・タ・ムツノクニ ハカリニテ・テワノクニワ ナカリシヨ(右傍補入)ナリ
- 44 <sup>サネ</sup> へ六十六カコクニ ワカタレシカト(削除)キ <sup>セウ</sup> へアコヤノマツノザイ所ヲハ・デワノコクチウエ ワカタレ
- 45 タレハ・ソレヨリノチワ ミチノクノ・アコヤノ マツトワ 申サヌ也 <sup>サネ</sup> へケニくキケハイワレ

- 46 タリ・サテワ アコヤノマツノザイ所・ムカシワムツノクニノウチ・<sup>セウ</sup>ハイマワ ワカチテ
- 47 デワノクニノ <sup>セウ</sup>ハコヤノマツニテ アルヘケレハ <sup>サネ</sup>ハムカシワ タウコク <sup>サネ</sup>ハタウシワデワノ
- 48 <sup>下哥ウ・同音</sup>・アコヤノマツト 申サンナ ヨモヒカ事ワ候ワシ・マサルヲモ <sup>セウ</sup>ハツラワサレ ヲトルヲモ
- 49 イヤシムナトノホン モン・カミニコソシロシ メサルヘキニ・シモヒト ナレハトテ サ(上)ノ(上)ミナ(上)
- 50 クタシ給ソ・<sup>上</sup>ケニヤナニシラウ 心ノラクワ アリケリト・<sup>上</sup>(心ノラクワ アリケリト) イマコソ ヲモイシラレタレ
- 51 カホトイヤシキ ヲキナサヒ・ヒ(上)ト(上)ナ トカメソ コトワリヤ・<sup>下(朱)</sup>ナヲモノカタリ申セトヨ <sup>上</sup>ク
- 52 <sup>サネカタコトハ</sup>ハケニ<sup>上</sup>アコヤノマツノザイ所・タツネミハヤト ヲモウナリ・イソキ 老人シルヘシテ・アコヤノ
- 53 マツヲミスヘキ也 <sup>セウ</sup>ハセウワモトヨリ ラウソクノ・アヨミモヲソキ ミチナリトモ・キヨ
- 54 イナレハ 御トモ申サントテ <sup>サネ</sup>ハイマヲモイタツ 旅衣 <sup>セウ</sup>ハサモハル<sup>上</sup>ノ <sup>サネ</sup>ハナニシラウ
- 55 <sup>次第・同音</sup>・アコヤノマツワ イツクソヤ <sup>上</sup>ク(アコヤノマツワ イツクソヤ) ミ(上)チ(上)ノクノ ハテヲ タツネン <sup>ウタウ</sup>ク(ノクレ山クレ サトスキ
- 56 テ・<sup>上</sup>ク(ノクレ山クレ サトスキテ) ミチワソコトモ シラマユミノ・<sup>延(朱)</sup>モトノミヲシルアメナレヤ シラル、ソテノアキノカセ・
- 57 フカル、クモ、アマツソラ・ミトリモ ミエテ カケタカキ アコヤノマツニモツキニケリ <sup>上</sup>ク(アコヤノマツニモツキニケリ)
- 58 <sup>サネカタコトハ</sup>ハアラヲモシロヤ キ、シニモ コエタル コタチナリケリ・ウレシクモ シルヘシタリ 老人
- 59 <sup>セウ</sup>ハコレマテナリヤ ラウジンナ・<sup>上</sup>ク(コレマテナリヤ ラウジンナ) ヲイトマ申候テ <sup>シホ(重書)カマニ</sup>シヲカマノ(ミセケチ) ウラニカエラン <sup>同</sup>ハイカニラウ
- 60 ジンタシカニモ・御ミチシルヘ 申タリ スミカワ イツクナルラン <sup>セウ</sup>ハセ(濁点不明) ウガスミカワ イツク



- 61 トカ・ユウカケフカキマツシマヤ へラシマノ月モテリソイテ へヤマコソミユレ へワカ、タノ・  
同音切(采) 庭(采)
- 62 ・イエヂモ サノミワ トラカラジ チカノ・シヲカマノ明神トワ・コノヲキナヨト イ、  
同音切(采) 庭(采)
- 63 ステ、カ(上)エ(上)ル ソナタカ(上) ケフリタツ シヲカマノウラニ ユキニケリ へ(シヲカマノウラニ ユキニケリ)
- 64 ヲカシ シカへ  
「(第二紙)」
- 65 サネカタコトハ へサテワ シヲカマノ明神ノ コノ松ヲ、シエ給ケルソヤ・イサヤコヨイワ旅キシテ・  
ウタフ同
- 66 ・カリマクラ マツノシタフシ アキノヨノへ(マツノシタフシ アキノヨノ) カセモロトモニ フケユクヤ・ 月ヲトモネノ  
ウタフ同
- 67 クサムシロ 心ヲノフル ケシキカナ へ(心ヲノフル ケシキカナ)
- 68 へラモシロヤ 日ノタテヌキモ ニシキヲナシテ・ヨモニ イロソウ コスエノアキ・クモノ  
神サシ聲
- 69 ハダテノ 下 山タカミ・ミトリノ ソラモ ウスキリノ・マカキノシマモ トヲカラテ・
- 70 サシモヘタテシ ミヤコ人・ケニメツラシキ トモナルソヤ へ(ミチノクノ) ・アコヤノ  
一七イ 庭(采)
- 71 アコヤノ(ミセケチ) マツニ コカクレテ へイツヘキ月ノ イテヤラヌ へケシキソクモル・シヲ  
同 神
- 72 カマノ 同音 ウラサヒシクモ・ミエワタル哉 へフシキヤナ ユメ ウツ、トモワカザルニ・  
永(采) サネカタ
- 73 マコトニ ソノサマ ラウタケタル・御スカタニテ アラワレ給ハ・イカナル 人ニテ マシ
- 74 マスソ へワレワコノホト ミチノクヨリ・御ミチシルヘ申ツル・ヲキナコレマテ マイ  
神
- 75 リタリ・ユメハシ サマシタマウナヨ へイヤユメハシサマスナトワ・トテモヨ  
サネ

- 76 スカラ シタフシノ・マツフク風ニ ヲトロカサレテ・サラニネヌヨノ マクラナリ
- 77 神  
ハアライツワリヤ サネカタヨ・マツフク風ニ ヲトロカサレテ・サラニネヌトワ ソラ  
同音ウタフ
- 78 コトヤ ・ヌレハゴソ・ヲトロカスラメ マツノ風・〈(ヲトロカスラメ マツノ風) ヲトニ キコエシ ナドコロノ・  
切替巻本
- 79 ・ムカシワ・ミチノクノ マツナレド・イマワ 待(巻) デワニ アリアケノ・カケタカキ アコヤノ  
クル(巻)
- 80 マツノ月ワ ヲモシロヤ・ソレ 上序 クル(巻) シウハツコウノエイワ シモノ、チニアラワレ・マタ(右傍補入) 一センネンノ  
クル(巻)
- 81 イロワ・雪ノウチニフカシ サシコエ ・チヨキノエタノ ヨロツヘテ ヤナキニ カエル ミトリモアリ  
下(巻)
- 82 ・マコトナルカナ セウクワノイロ・トカエリヲナス ハルアキノ・イクヒサシサノ イロナラン  
下
- 83 クセマイ  
・ケニヤユキフリテ・トシノクレヌル トキマテモ・ツイニモミチヌ マツカエノ 筵(巻) 老木
- 84 ニナレトモ年(トシ) 〈ニ マタワカミトリ タチエノ イクハルノメクミ ナルヘキ・シンノシクワウノ
- 85 御シヤクニ アツカルホトノ 木ナリトテ・イコクニモ ホンテウニモ・人コソツ(右傍) テ・コノキヲ
- 86 シヤウクワンス・チトセマテ 上 筵(巻) カキレル マツモ ケウヨリワ・キミニヒカレテ・ヨロツ代マテ  
クル(巻)
- 87 ノ ハルアキヲ ヲクリムカエテ ミカケ山・タカサコ 筵(巻) スミノエ カラサキヤ ミヤコノ
- 88 フシモアツマソト ミヲノハ(マ) (ミセケチ) ツハラ クリハラヤ・アネワノ(上) マツノ人ナラハ・ミヤコノツトニ サツ
- 89 イナン 待(巻) アワレ アコ(上) ヤ(上) ノ(上) マツカセノ ナ(上) タ(上) カキヤ ウエナカルラン 下  
下(巻)
- 90 舞アルヘシ 大コ

- 91 神サシコエ  
・イカニサネカタ ラモイ、テタマワスヤ (ミセケチ) ・ミヤコニテ カモノヤシロノ リンジノマイ・キ、ヲヨ  
ツヤ
- 92 ヒニシコトソカシ・イマモヲモワヌ タヒキノ ヤユウ・コレモリンシノ (墨汚) マイソカシ・シヲ  
下カハリテ(巻)
- 93 舞ヘシ 和哥一聲
- 94 カマノ、、 ワスレメヤ (永朱) 〈ワスレメヤ〉 ミタラシカワニ・ウツリマイ 下同音  
クル(朱)
- 95 カタノサカリノ・〈(サネカタノサカリノ) ハナヤカニ タエナリシ マイスカタ・コレワヒキカエテ ライキノマツノ・  
神
- 96 同  
ハスカタワ ケニモ 神下  
ハラウレウノエタ、レテ 同上  
ケル(巻)
- 97 ・テニミテリ 神下  
マツカネノマクラシテ 同  
マツカネノマクラシテ) ・シタフシモホトナク アリアケ カタノ松風・  
ノフル(朱)
- 98 上  
フカル、 ソテモ サス エタノ・ヨワ〈トミエシマ、 アコヤノマツノ ナニシヲウ 水巻  
コカ
- 99 クレテウセニケリ アトコカクレテコソ (右傍・ミセケチ) ウセニケリ

へ應永卅二々年十一月日

・世書

」

(第四紙)

あまざかる (天離)	
アマサカル	7
あまつそら (天空)	
アマツソラ	57
あめ (雨)	
アメ	56
あよみ (歩)	
アヨミ	53
あよみよる (歩寄)	
アヨミヨリ	38
あら (感動詞)	
アラ	35・58・77
あらし (嵐)	
アラシ	12
あらはる (露・現)	
アラワレ	73・80
あり (在・有)	
アラ	40
アリ (連用形)	5・42・50
く (アリ) (連用形)	50
アリ (終止形)	21・81
アル	17・31・33・47
アレ (已然形)	18・29
アレ (命令形)	28
ありあけ (有明)	
アリアケ	79
ありあけがた (有明方)	
アリアケ カタ	97
ありどころ (在所)	
アリ所	39
あれ (代名詞)	
アレ	9・12
い	
いかなり (如何)	
イカナラ	17
イカニ	21・59・91
イカナル	73
いく (行)→ゆく	
いくはる (幾春)	
イクハル	84

## 本文語彙索引

あ	
あき (秋)→はるあき	
アキ	3・19・68
あきのかぜ (秋の風)	
アキノカセ	56
あきのひかげ (秋日影)	
アキノヒカケ	14
あきのよ (秋夜)	
アキノヨ	66
く (アキノヨ)	66
あこや (阿古屋)	
アコ (上)ヤ (上)	89
あこやのまつ (阿古屋松)	
アコヤノ松	1・23
アコヤノマツ	22・22・26・30・39・39 44・46・47・48・52・52 55・57・70・79・98
アコヤノマツ (右傍補入)	31
アコヤノ マツ	45
く (アコヤノマツ)	55・57
アコヤノマツ (ミセケチ)	71
あさかのぬま (安積沼)	
アサカノ (重書)ヌマ	8
あさゆふ (朝夕)	
アサユウ	25
あしびきの (足引)	
アシヒキノ	18
あたり (辺)	
アタリ	6
あづかる (与)	
アツカル	85
あづま (東)	
アツマ	88
あと (跡)	
アト	99
あねはのまつ (姉齒松)	
アネワノ (上)マツ	88
あはれ (哀)	
アワレ	19・89

イ、ステ	62	いくひさしさ(幾久)	
いふ(言・謂)		イクヒサシサ	82
イワ	45	いこく(異国)	
ユウ	13	イコク	85
いへぢ(家路)		いさ(副詞)	
イエチ	12	イサ	26
イエヂ	62	いさご(砂)	
いま(今)		イサゴ	37
イマ	6・30・46・50・54・79・92	いざや(感動詞)	
いまは(今)		イサヤ	39・65
イマハ	32	イサヤ(右傍)	59
いや(感動詞)		いそぐ(急)	
イヤ	75	イソキ	52
いやし(卑)		イソク	12
イヤシキ	23・24・51	いそのかみ(石上)	
いやしむ(卑)		イソノカミ	16
イヤシム	49	いだす(出)→おもひいだす	
いる(入)		いちせんねん(一千年)	
イラ	13	一センネン	80
いろ(色)		いちどうに(一同)	
イロ	36・81・82・82	一ドウニ	33
いろそふ(色添)		いづ(出)→おもひいづ	
イロソウ	68	イヅ	71
う		いづく(何処)	
うす(失)		イツク	22・55・60・60
ウセ	99・99	く(イツク)	55
うすぎり(薄霧)		いつこく(一国)	
ウスキリ	69	一コク	43
うた(歌)→ふるきうた		いつしか(何時)	
うたてし(転)→おんうたてし		イツシカ	8
うち(内・中)		いつはり(偽)	
ウチ	46・81	イツワリ	77
うつつ(現)		いでやる(出遣)	
ウツ、	72	イテヤラ	71
うつりまひ(移舞)		いとま(暇)→おいとま	
ウツリマイ	94	いはがき(岩垣)	
うへ(上)		イワカキ	15
ウエ	89	いはれ(謂)	
うら(浦)→しほがまのうら		イワレ	40・40
うらさびし(寂)		いひすつ(言捨)	

おと(音)		ウラサヒシク	72
ヲト	78	うれし(嬉)	
おとる(劣)		ウレシク	58
ヲトル	48	え	
おどろかす(驚)		え(枝)→たちえ・まつがえ	
ヲトロカサ	76・77	えい(詠)	
ヲトロカス	78	エイ	17
く(ヲトロカス)	78	えい(榮)	
おなじ(同)		エイ	80
ヲナシ	12・13	えだ(枝)	
おふ(負)→なにしおふ		エタ	81・96・98
おほせ(仰)		お	
ヲウセ	24	おいき(老木)	
おもしろ(面白)		老木	83
ヲモシロ	58・68・80	おいきのまつ(老木松)	
おもひいだす(思出)		ライキノマツ	95
ヲモイ、タシ	30	おいとま(御暇)	
おもひいづ(思出)		ライトマ	28・59
ヲモイ、テ	91	おいひがむ(老僻)	
ヲモイ、ヅ(右傍)	91	ライヒカミ	35
おもひしる(思知)		おうえいさむじふよねん(應永三四年)	
ヲモイシラ	50	應永卅二々年	100
おもひたつ(思立)		おきな(翁)	
ヲモイタツ	54	ヲキナ	62・74
おもふ(思)		おきなぐさ(翁草)	
ヲモワ	92	ヲキナクサ	38
ヲモウ	52	おきなさび(翁)	
およぶ(及)→ききおよぶ		ヲキナサヒ	36・51
おんうたてし(御転)		おく(置)→こりおく	
御ウタテシ	35	ヲク	20
おんしやく(御爵)		く(ヲク)	20
御シヤク	85	おく(奥)	
おんすがた(御姿)		ヲク	17・50
御スカタ	73	く(ヲク)	50
おんたづぬ(御尋)		おくやま(奥山)	
御タツネ	21・26	ヲク山	15
おんとも(御供)		おくりむかふ(送迎)	
御トモ	54	ヲクリムカエ	87
おんまへ(御前)		おそし(遅)	
御マエ	38	ヲソキ	53

かは(川)→みたらしがは	
かふ(替)→ひきかふ	
かへる(回・帰・還)→とかへり	
カエラ	59
カ(上)エ(上)ル	63
カエル	81
かほど(副詞)	
カホト	51
かみ(上)→いそのかみ	
カミ	49
かものやしる(賀茂社)	
カモノヤシロ	91
かよふ(通)	
カヨウ	7
く(カヨウ)	7
からさき(辛崎)	
カラサキ	87
からす(烏)→やまがらす	
かりまくら(仮枕)	
カリマクラ	66
かろし(軽)	
、(カ)ロキ	12
き	
き(木)→おいき・ちよき	
キ	13・85
木	85
き(助動詞)	
シ	16・22・42・43・44・58・70 78・92・94・95・98
ききおよぶ(聞及)	
キ、ヲヨヒ	22・91
きく(聞)	
キ、	58
キケ	45
きこゆ(聞)	
キコエ	78
きみ(君)	
キミ	86
きよい(御意)	
キヨイ	53

おんみちしるべ(御道標)	
御ミチシルへ	60・74
か	
か(助詞)→とか・ものか	
カ	12・12・12・23・29
カ(重書)	44
カ(上)	63
が(助詞)→まつがね	
カ	12
ガ	60
かぎる(限)	
カキレ	86
かく(副詞)→とにもかくにも	
かくる(隠)→こがくる	
かげ(影)→ゆふかげ・よかげ	
カケ	57・79・94
かざし(挿頭)	
カサシ	13
かさなる(重)	
カサナル	13
かし(助詞)	
カシ	92・92
かしら(頭)	
カシラ	36
かぜ(風)→あきのかぜ・まつかぜ・ま つのかぜ・まつふくかぜ	
カセ	66
かた(方)→ありあけがた	
、(カ)タ	61
かだう(歌道)	
カダウ	23・26
かつ(且)	
カツ	9
く(カツ)	9
がつ(賤)→やまがつ	
がつみ→はながつみ	
かな(助詞)→ものかな	
カナ	14・20・67・82
く(カナ)	20・67
哉	72

ケウ	86
けぶり(煙)	
ケフリ	63
けり(助動詞)	
ケリ(終止形)	50・57・58・63・99・99
く(ケリ)(終止形)	50・57・63
ケル	41・65
ケレ	35
こ	
こがくる(木隠)	
コカクレ(連用形)	71・98・99
こがね(金)	
コカネ	37
こく(国)→いこく・いつこく・たうご	
く・たこく	
こくちう(国中)	
コクチウ	44
ここ(此処)	
コ、	17
こころ(心)→ひとごころ・ひとのこ	
ころ	
心	17・50・67
く(心)	50・67
こころす(心)	
コ、ロセヨ	15
こころなし(心無)	
心ナキ	19・35
ござめり(御座)	
コサメレ	10
こし(腰)	
コシ	96
こずゑ(梢)	
コスエ	3・13・68
こそ(助詞)→されはこそ	
コソ	13・16・24・28・29・49・50・61・78
コソ(右傍・ミセケチ)	99
こぞる(挙)	
コソツ(右傍)	85
こだち(木立)	
コタチ	58

きり(霧)→うすぎり	
く	
く(来)	
キ	10
くさ(草)→おきなぐさ	
くさむしろ(草筵)	
クサムシロ	67
くたす(腐)	
クタシ	50
くだる(下)	
クタリ	5
くに(国)→ではのくに・むつのくに	
クニ	23・43
くも(雲)	
クモ	14・57
くものはだて(雲旗手)	
クモノハダテ	68
くもる(曇)	
クモル	71
くりはら(栗原)	
クリハラ	88
くる(暮)	
クレ	83
くれ(暮)→のくれやまくれ	
くろし(黒)	
クロキ	36
け	
げ(接尾語)→らうたげ	
けしき(気色)	
ケシキ	38・67・71
く(ケシキ)	67
げに(副詞)	
ケニ	50・70
げにげに(副詞)	
ケニく(ケニ)	45・52
げにも(実)	
ケニモ	96
げにや(副詞)	
ケニヤ	16・83
けふ(今日)	



候ワ	40	こと(事)	
候(連用形)	41・59	→さること・そらごと・なにごと	
候(終止形)	7・21・22・28・30	ひがごと・わがこと	
候へ(已然形)	6	コト	15・21・32・92
候へ(命令形)	10・21・22・40	ごとし(如)	
ざいこく(在国)		ゴトク	24
ザイコク	5	ことわり(理)	
さかり(盛)		コトワリ	51
サカリ	6・95	こなた(此方)	
く(サカリ)	95	コナタ	10
さかる(離)→あまざかる		この(此)	
さく(咲)→はなさく		コノ	23・62・65・85
さくら(桜)		このほど(此程)	
サクラ	18	コノホト	74
く(サクラ)	18	こゆ(越)	
さしも(副詞)		コエ	58
サシモ	70	こよひ(今宵)	
さす(差)		コヨイ	65
サス	98	こりおく(樵置)	
さぞな(副詞)		コリヲク	25
サソナ	8	こる(樵)	
さそふ(誘)		コレ	13
サソイ	88	これ(此)	
さては(接続詞)		コレ	4・74・92・95
サテワ	46・65	これまで(此)	
さと(里)		コレマテ	59
サト	16・55	く(コレマテ)	59
く(サト)	56	ころ(頃)→なかがご	
さねかた(実方)		コロ	6
サネカタ	4・77・91・94	ころも(衣)→たびころも・みのしるご	
く(サネカタ)	95	ろも	
さのみ(副詞)		さ	
サ(上)ノ(上)ミ	49	さ(接尾語)→いくひさしさ・さむさ	
サノミ	62	ざいしよ(在所)	
さび(接尾語)→おきなさび		ザイ所	22・44・46・52
さびし(寂)→うらさびし		さうらふ(候)	
さま(様)		候ワ	48
サマ	73	候(終止形)	30・40
さます(覚)		さうらふ(候)(補助動詞)→さんざう	
サマシ	75	らふ	

しばし(暫)		サマス	75
シハシ	14	さむさ(寒)	
しばらく(暫)		サムサ	12
シハラク	5	さむじふさむがこく(三十三箇国)	
じふいちぐわつにち(十一月日)		三十三ガコク	41・42
十一月日	100	さも(副詞)	
じふはつこう(十八公)		サモ	54
シウハッコウ	80	さらに(副詞)	
しほがま(塩竈)→ちかのしほがま		サラニ	76・77
シホ(右傍)カマ	59	されば(然)	
□□カマ(右傍)	59	サレハ	28
シヲカマ	71・92	さればこそ(然)	
しほがまのうら(塩釜浦)		サレハコソ	42
シヲカマノウラ	63	さること(然事)	
シヲカマノウラ(ミセケチ)	59	サル事	5
しほがまのみやうじん(塩釜明神)		さんざうらふ(候)	
シヲカマノ明神	65	サン候	31
しほる(菱)		し	
シラル、	56	し(助詞)→なにしおふ	
しま(島)		シ	6・16
シマ	69	じ(助動詞)	
しむ(染)		シ	48
シマ	37	ジ	62
しも(霜)→ゆふしも		しぐれゆく(時雨行)	
シモ	80	シクレユク	3
しも(助詞)→さしも		く(シクレユク)	3
しもびと(下人)		しくわう(始皇)	
シモヒト	49	シクワウ	84
しやうぐわんす(賞玩)		しさい(子細)	
シヤウクワンズ	86	シサイ	10
しやく(爵)→おんしやく		したぶし(下隊)	
しゆじやくゐん(朱雀院)		シタフシ	66・76・97
シユシヤクイン	4	く(シタフシ)	66
じよう(尉)		しのぐ(凌)	
ゼウ	28・33	シノグ	14
セウ	53	しのぶ(忍)	
セウ(濁点不明)	60	シノヒ	7
しようくわ(松花)		く(シノヒ)	7
セウクワ	82	しのぶやま(忍山)	
しようこん(松根)		シノフ山	7

すつ(捨)→いひすつ	
すみか(住处)	
スミカ	60・60
すみのえ(住吉)	
スミノエ	87
する(摩)	
スレ	96
せ	
ぜ(世)	
世	100
せんねん(千年)→いちせんねん	
センネン	96
そ	
そ(助詞)	
ソ	36・37・50・51
ぞ(助詞)	
ソ	14・22・31・55・55・65・70・71 74・88・92・92
く(ソ)	55
そく(足)→らうそく	
そこ(其処)	
ソコ	56
そで(袖)	
ソテ	56・98
そなた(其方)	
ソナタ	63
その(其)	
ソノ	73
そふ(添)→いろそふ・てりそふ	
そもそも(接続詞)	
ソモク(ソモ)	4・32・41
そら(空)→あまつそら	
ソラ	69
そらごと(虚言)	
ソラコト	77
それ(其)	
ソレ	45・80
ぞんず(存)	
存	7
た	

セウコン	96
しよす(書)	
書	100
しらまゆみ(白真弓)	
シラマユミ	56
しらゆき(白雪)	
シラユキ	26
しる(知)	
、(シ)ラ	8
シラ	19・20・22・23・29
く(シラ)	20
シル	56
しるべ(導・標)	
シルヘ	52・58
しろし(白)	
シロク	36
しろしめす(知召)	
シロシ メサ	49
しん(秦)	
シン	84
す	
す(動詞)→こころす・しやうぐわん す・ぞんず・たびみす・まくらす	
シ	52・58
す(助動詞)	
セ	36・37
ず(助動詞)	
ザル	72
ス(連用形)	22
ス(終止形)	8
ス(ミセケチ)	91
ヌ	19・20・29・37・45・71・76・77・92
く(ヌ)	20
ネ	16・25
サレ	48
すがた(姿)→おんすがた・まひすがた	
スカタ	96
すぐ(過)→ふけすぐ	
スキ	55
く(スキ)	56

たびごろも (旅衣)		だう (道) → かだう	
旅衣	54	たうごく (当国)	
たびみ (旅居)		タウコク	30・31・32・47
タヒキ	92	タウゴク	39
たびみす (旅居)		たうじ (当時)	
旅キシ	65	タウジ	30・31・40
たへなり (妙)		タウシ	47
タエナリ	95	たかさご (高砂)	
たまふ (給)		タカサコ	87
給 (連用形)	28	たかし (高) → なだかし	
たまふ (給) (補助動詞)		タカキ	57・79
タマワ (ミセケチ)	91	たかみ (高)	
給 (連用形)	36・37・50・65	タカミ	69
給 (連体形)	73	たきぎ (薪)	
タマウ (連体形)	75	タキ、	14・25
たもと (袂)		たこく (他国)	
タモト	20	タコク	33
く (タモト)	20	たしかに (副)	
たより (便)		タシカニ	60
タヨリ	18	ただ (副詞)	
く (タヨリ)	18	タ、	43
たり (助動詞)		たち (立) → こだち	
タリ (終止形)	42・46・58・60・75	たちえ (立枝)	
タル	9・36・58・73	タチエ	84
タレ (已然形)	24・29・45・50	たつ (立) → おもひたつ・はらだつ	
タレ (命令形)	10	タツ	63
たる (垂)		たづぬ (尋) → おんたづぬ	
、 (タレ)	96	タツネ (未然形)	3・55
ち		く (タツネ) (未然形)	55
ちうじやう (中将)		タツヌ	10・21
チウジヤウ	4	タツネヨ	28
ちかし (近)		たづね (尋) → おんたづね	
チカウ	10	たづねみる (尋見)	
チカク	21・38	タツネミ	52
ちかのしほがま (千賀塩竈)		たてぬき (経緯)	
チカノシヨカマ	62	タテヌキ	68
ちとせ (千年)		たてまつる (奉) (補助動詞)	
チトセ	86	タテマツル	4
ちよき (千代木)		だに (助詞)	
チヨキ	81	タニ	17・19

と		ちる(散)	
と(助詞)→よわよわと		、(チ)リ	15
ト	4・7・8・13・16・19・22・23・24・25 25・26・28・29・31・31・38・41・45 48・49・50・51・52・56・62・72・75 77・88	つ	
ト(重書)	44	つ(助動詞)	
く(ト)	50・51	ツル	74
ど(助詞)		つ(助詞)→あまつそら	
ド	79	つかふ(仕)	
とか(助詞)		ツカエ	4
トカ	61	つき(月)→ながつき	
とかへり(十回)		月	61・66・71・89
トカエリ	82	つく(着)	
とがむ(咎)		ツキ	57
トカメ	51	く(ツキ)	57
とき(時)		つと(苞)→みやこのつと	
トキ	18・42・83	つひに(終)	
トキ(重書)	44	ツイニ	83
とく(副詞)→とくとく		つゆ(露)→ゆふつゆ	
とくとく(副詞)		つる(連)	
トクく(トク)	40	ツレ	13
ところ(所)→ありどころ・なごころ		て	
とし(疾)		て(助詞)→とて	
トク	12	テ	5・6・7・8・13・15・20・29・30 39・46・52・56・57・61・65・68 71・76・77・81・83・85・86・87 89・95・96・96・97・97・99・99
とし(年)→としどし		く(テ)	7・56・59・97
トシ	83	ゝ(テ)	63
としどし(年々)		で(助詞)テ	23・25・69
トシ <sup>トシ</sup> 年く	84	でい(泥)	
とせ(年)→ちとせ		デイ	37
とて(助詞)		ては(出羽)	
トテ	19・33・49・85	デワ	31・33・40・42・44・47・79
とても(副詞)		ではのくに(出羽国)	
トテモ	75	デワノクニ	30・47
ともかくにも(副詞)		テワノクニ	43
トニモカクニモ	33	てりそふ(照添)	
とは(助詞)		テリソイ	61
トワ	62	てるひ(照日)	
とほし(遠)		テルヒ	15
トラカラ	62・69		

なにごと(何事)	
ナニコト	21
なにしおふ(名負)	
ナニシラウ	50・54・98
なほ(副詞)	
ナヲ	51
なり(助動詞)→いかなり・たへなり・はなやかなり	
ナラ	9・25・88
く(ナラ)	9
ナリ(終止形)	5・6・43・52・53・58 59・85
く(ナリ)(終止形)	59
也(終止形)	5・45・53
ナル	12・17・60・70
ナレ(已然形)	18・19・23・25・43・49 54・56・79
なる(成)	
ナラ	82
ナル	84
ナレ	84
なる(慣)	
ナレ	8
なんぢ(汝)	
ナンヂ	23
に	
に(助詞)→いちどうに・たしかに・つひに・とにもかくにも・なにしおふ	
ニ	4・9・12・12・13・17・17・24・26 28・31・33・37・37・37・37・40・42 44・49・49・57・58・63・68・71・72 76・77・78・79・80・81・81・84・84 85・85・85・86・88・94・97
ニ(右傍)	12・59
、(ニ)	5・23・30
く(ニ)	57・63
ニ(ミセケチ)	59
に(荷)	
ニ	12
にごり(濁)	

とも(助詞)	
トモ	8・14・20・53
く(トモ)	20
とも(友)	
友	9
く(友)	9
トモ	70
とも(供)→おんとも	
ども(助詞)	
トモ	19・84
ともね(共寝)	
トモネ	66
な	
な(助詞)→さぞな・もがな	
ナ(上)	49
ナ	26・36・37・49・51・72・75・75
な(名)	
ナ	17
なう(助詞)	
ナウ	41
なかごろ(中頃)	
ナカコロ	41
ながつき(長月)	
ナカ月	6
ながむ(眺)	
ナカメ	7
なし(無)→こころなし・ほどなし	
ナク	15・20
ナカリ	43
ナシ	23
ナカル	89
なす(成)	
ナシ	68
ナス	82
なだかし(名高)	
ナ(上)タ(上)カキ	89
などころ(名所)	
ナドコロ	78
なに(何)	
ナニ	31

47・47・49・50・52・53・54・55・56	
56・60・61・62・65・66・66・66・68	
68・69・69・69・69・70・71・72・76	
76・78・79・79・80・80・80・80・81	
81・81・82・82・82・83・83・84・84	
84・84・85・87・87・89・89・91・92	
94・95・95・95・95・96・96・97・97	
	98・98
く(ノ)	18・50・61・95
ノ(上)	88・89
のう(能)	
能	1
のくれやまくれ(野暮山暮)	
ノクレ山クレ	55
く(ノクレ山クレ)	56
のち(後)	
ノチ	45
、(ノ)チ	80
のぶ(延)	
ノフル	67
く(ノフル)	67
のみ(助詞)→さのみ	
は	
は(助詞)→いまは・さては	
ワ	4・4・6・12・17・22・22・23・28・28
	30・30・30・31・31・31・32・35・36
	36・39・40・41・41・42・43・43・45
	45・46・46・47・48・50・53・55・56
	60・60・62・65・74・77・79・79・80
	80・81・86・95・96
ハ	8・18・25・41
く(ワ)	50
ば(助詞)→さればこそ	
ハ	6・13・16・19・23・25・25・29・35
	40・43・45・45・47・49・54・88・96
ばかり(助詞)	
ハカリ	43
ばし(助詞)	
ハシ	75・75
はじめ(始)	

ニコリ	37
にしき(錦)	
ニシキ	68
にて(助詞)	
ニテ	6・21・38・41・42・43・47・73・73
	91
にほんごく(日本国)	
ニホンゴク	41
ぬ	
ぬ(助動詞)	
ナ	89
ニ	16・57・63・92・99・99
く(ニ)	57・63
ヌ	15
ぬ(寝)	
ネ(未然形)	76・77
ヌレ	78
ぬき(緯)→たてぬき	
ぬま(沼)→あさかのぬま	
ね	
ね(寝)→ともね	
ね(根)→まつがね	
ねん(年)→せんねん	
の	
の(助詞)→あきのかぜ・あきのひか	
げ・あきのよ・あこやのまつ・あさか	
のぬま・あしびきの・あねはのまつ・	
いそのかみ・おいきのまつ・かものや	
しろ・くものはだて・しほがまのう	
ら・しほがまのみやうじん・ちかのし	
ほがま・ではのくに・ひとのこころ・	
ひのひかり・まつのかぜ・みちのべ・	
みほのまつばら・みやこのつと・もと	
のみ・むつのくに・よものやまなみ・	
りむじのまひ	
之	1
ノ	3・5・6・6・8・9・12・13・14・15・15
	17・17・18・18・18・20・22・23・24
	26・26・26・32・32・32・33・35・38
	38・39・39・43・44・44・45・46・46

ひと(人)→しもびと・みやびと・やま びと		ハシメ	29
人	9・28・73・85・88	はだて(旗手)→くものはだて	
く(人)	9	はちす(蓮)	
ヒト	26・36・37	ハチス	37
ヒ(上)ト(上)	51	はて(果)	
ひとごころ(人心)		ハテ	55
人コ、ロ	8	く(ハテ)	55
ひとのこころ(人心)		はな(花)	
ヒトノ心	37	ハナ	25
ひのひかり(日光)		はながつみ(花)	
日ノヒカリ	16	ハナカツミ	9
ふ		はなさく(花咲)	
ふ(経)		ハナサク	16
へ	81	はなやかなり(華)	
ふかし(深)		ハナヤカニ	95
フカシ	81	ばや(助詞)	
フカキ	61	ハヤ	7・52
ふく(吹)→まつふくかぜ		はらだつ(腹立)	
フカ	57・98	ハラタテ	38
ふけすぐ(更過)		はる(春)→いくはる	
フケスキ	89	ハル	19
ふけゆく(更行)		はるあき(春秋)	
フケユク	66	ハルアキ	82・87
ふじ(富士)		はるばる(副)	
フシ	88	ハルク	54
ふしぎ(不思議)		ひ	
フシキ	32・72	ひ(日)→てるひ	
ふす(凵)→したぶし		日	68
ふる(降)		ひかげ(日影)→あきのひかげ	
フリ	83	ひがこと(僻事)	
ふる(古)		ヒカ事	48
フリ	16	ひがむ(僻)→おいひがむ	
ふるきうた(古歌)		ひかり(光)→ひのひかり	
フルキウタ	24	ヒカリ	15
ふるきもの(古者)		ひきかふ(引替)	
フルキモノ	29	ヒキカエ	95
ふるし(古)		ひく(引)	
フルカラ	26・28	ヒカ	86
フルキ	17	ひさし(久)	
		ヒサシキ	32



マサル	48	へ	
まして(副詞)		へ(助詞)	
マシテ	25	エ	10・44
まします(坐)		べ(接尾)→みちのべ	
マシマス	73	べし(助動詞)	
また(又)		へシ	15・28
マタ	33・84	へキ	10・21・21・33・49・53・71・84
マタ(右傍補入)	80	へケレ	47
まつ(松)→あこやのまつ・あねはのまつ		へだつ(隔)	
つ		へタテ	70
マツ	25・32・66・79	へつらふ(諂)	
松	65	へツラワ	48
く(マツ)	66	ほ	
まつがえ(松枝)		ほく(木)→めいほく	
マツカエ	83	ほど(程)→かほど・このほど	
まつかぜ(松風)		ホト	85
マツカセ	89	ほどなし(程無)	
松風	97	ホトナク	97
まつがね(松根)		ほんてう(本朝)	
マツカネ	97	ホンテウ	85
く(マツカネ)	97	ほんもん(本文)	
まつしま(松島)		ホン モン	49
マツシマ	61	ま	
まつのかぜ(松風)		まうす(申)	
マツノ風	78	申サ	39・45・48・54
く(マツノ風)	78	申(連用形)	40・40・59・60・74
まつばら(松原)→みほのまつばら		申(連体形)	23・31・32
まつふくかぜ(松吹風)		申セ	51
マツフク風	76・77	く(申セ)	51
まで(助詞)		まがき(籬)	
マテ	74・83・86・86	マカキ	69
まひ(舞)→うつりまひ・りむじのまひ		まくら(枕)→かりまくら	
まひすがた(舞姿)		マクラ	76
マイスカタ	95	まくらす(枕)	
まへ(前)→おんまへ		マクラシ	97
まま(助詞)		く(マクラシ)	97
マ、	98	まことなり(真)	
まゆみ(真弓)→しらまゆみ		マコトニ	29・73
まゐる(参)		マコトナル	82
マイリ	10・74	まさる(勝)	

みやこ(都)	
ミヤコ	21・87・91
みやこのつと(都苞)	
ミヤコノツト	88
みやこびと(都人)	
ミヤコ人	70
みゆ(見)	
ミエ(連用形)	9・24・57・98
ミユレ	61
みる(見)→たずねみる	
ミ(連用形)	29・94
ミル(連体形)	9・15
く(ミル)	9
む	
む(助動詞)	
メ(連用形)	94
く(メ)(連用形)	94
ン(終止形)	3・17・40・54・55 59・82・89
く(ン)(終止形)	55
ン(連体形)	9・26・28・39・48
く(ン)(連体形)	9
むかし(昔)	
ムカシ	30・31・32・39・41・46・47・79
むしろ(筵)→くさむしろ	
むつ(陸奥)	
ムツ	43
むつのくに(陸奥国)	
ムツノクニ	5・43・46
め	
めいしよ(名所)	
名所	32
めいぼく(名木)	
メイボク	26
めぐみ(恵)	
メクミ	84
めぐる(巡)	
メクリ	6
めす(召)	
メシ	29

み	
み(接尾語)→たかみ	
み(身)→もとのみ	
ミ	19・35
みえわたる(見渡)	
ミエワタル	72
みかげやま(御蔭山)	
ミカケ山	87
みず(見)	
ミス	53
みたらしがは(御手洗川)	
ミトラシカワ	94
みち(道)	
ミチ	7・53
く(ミチ)	7
みちしるべ(道標)→おんみちしるべ	
みちのく(陸奥)	
ミチノク	8・23・45・70・74・79
ミ(上)チ(上)ノク	55
く(ミチノク)	55
みちのくやま(陸奥山)	
ミチノク山	17
みちのべ(道辺)	
ミチノベ	18
みつ(満)	
ミテ	97
みどり(緑・翠)→わかみどり	
ミトリ	57・69・81・96
みな(皆)	
ミナ	33
みね(峰)	
ミネ	13
みのしろごろも(蓑代衣)	
ミノシロコロモ	19
みほのまつばら(美保松原)	
ミヲノマツハラ(右傍)	88
ミヲノハツハラ(ミセケチ)	88
みやうじん(明神)→しほがまのみやうじん	
明神	62

	80・87・88・89・94・94
く(ヤ)	9・55・59・94
ヤ(ミセケチ)	91
やいう(夜遊)	
ヤユウ	92
やしろ(社)→かものやしろ	
やすむ(休)	
ヤスム	14
やなき(柳)	
ヤナキ	81
やぶ(藪)	
ヤフ	16
やま(山)→おくやま・しのぶやまの くれやまくれ・みかげやま・みちのく やま・やまやま	
山	12・69
ヤマ	61
やまがつ(山賤)	
ヤマガツ	18・24・35
やまがらす(山烏)	
ヤマカラス	36
やまぢ(山路)	
山チ	14
やまなみ(山並)→よものやまなみ	
やまびと(山人)	
山ヒト	10
山人	10・12
やまやま(山々)	
山く(山)	6
やらん(助詞)	
ヤラン	26
やる(遣)→いでやる	
ゆ	
ゆき(雪)→しらゆき	
雪	81
ユキ	83
ゆく(行)→ふけゆく・しぐれゆく	
ユキ	63
く(ユキ)	63
ユク	12

めづらし(珍)	
メツラシキ	70
めり(助動詞)→ござめり	
も	
も(助詞)→げにも・さも・とにもかく にも	
モ	6・14・16・17・17・19・19・24・25・25 35・37・48・48・53・56・57・57・58 58・60・61・62・68・69・69・72・81 83・85・85・86・88・89・92・92・97
	98
ゝ(モ)	57
もがな(助詞)	
モカナ	7
く(モカナ)	7
もとのみ(元の身)	
モトノミ	56
もとより(副詞)	
モトヨリ	24・35・53
もの(者)→ふるきもの	
モノ	23
もの(物)	
モノ	17・38
ものか(助詞)	
モノカ	33
ものがたり(物語)	
モノカタリ	51
く(モノカタリ)	51
ものかな(助詞)	
モノカナ	32
もみぢ(紅葉)	
モミチ	6・15
もみづ(紅葉)	
モミチヌ	83
もろともに(諸共)	
モロトモニ	66
や	
や(助詞)→いざや	
ヤ	9・18・31・35・50・51・55・56・58 59・61・65・66・68・70・72・77・78

ヨロツ	81	ユケ	13
よろづよ (万代)		ゆふ (夕) → あさゆふ	
ヨロツ代	86	ゆふかげ (夕影)	
よわよわと (弱弱)		ユウカケ	61
ヨワく (ヨワ) ト	98	ゆふしも (夕霜)	
ら		ユウシモ	38
らうじん (老人)		ゆふつゆ (夕露)	
ラウジン	9・29・59・59	ユウツユ	20
老人	21・29・52・58	ゆめ (夢)	
く (ラウジン)	59	ユメ	72・75・75
らうそく (老足)		よ	
ラウソク	53	よ (助詞)	
らうたげ (膈長気)		ヨ	29・36・37・51・62・75・77
ラウタケ	73	く (ヨ)	51
らうりょう (老竜)		よ (世)	
ラウレウ	96	ヨ (右傍補入)	43
らむ (助動詞)		よ (夜) → あきのよ	
ラン (終止形)	60・89	ヨ	76
ラメ	78	よ (代) → よろづよ	
く (ラメ)	78	よかげ (夜影)	
り		ヨカケ	89
り (助動詞)		よし (副詞)	
リ	97	ヨシ	8
ル	38・86	よすがら (副詞)	
りむじのまひ (臨時舞)		ヨスカラ	75
リンジノマイ	91	よも (四方)	
リンシノマイ (墨汚)	92	ヨモ	68
る		よも (副詞)	
る (助動詞)		ヨモ	48
レ (連用形)	42・44・44・45	よものやまなみ (四方山並)	
	50・76・77・86	四方ノ山ナミ	3
ル	49	く (四方ノ山ナミ)	3
ル、	57・98	より (助詞) → もとより	
ろくじふろくかこく (六十六箇国)		ヨリ	14・29・41・45・74・86
六十六カコク	41・44	よる (寄) → あよみよる	
わ		ヨリ	21
わが (我)		よる (倚・因)	
ワカ	61	ヨ	96
わがこと (我事)		ヨル	38
我事	4	よろづ (万)	

□□(右傍墨減)	12	わかつ(分)	
		ワカタ	42・44・44
		ワカチ	46
<b>注記語彙索引</b>		わかみどり(若緑)	
あげ(上)		ワカミトリ	84
上	18・50・86・98	わきまふ(弁)	
あげじよ(上序)		ワキマエ	25
上序	80	わく(別)	
いづ(出)		ワカ	16・72
出	2	わする(忘)	
いつせい(一聲)		ワスレ	94
一聲	13	く(ワスレ)	94
一セイ	70	わたる(渡)→みえわたる	
いふ(云)		わらふ(笑)	
云	34	ワラワ	36・37
うたふ(謡)		ワライ	35
ウタウ	36・55	われ(我)	
うたふどう(謡同)		ワレ	5・74
ウタフ同	66	ゐ	
かかる(掛)		ゐ(居)→たびゐ	
カ、リ	92	ゐん(院)→しゅじやくゐん	
かへりかかる(婦掛)		を	
カエリカ、リ	34	を(助詞)	
かへる(婦)		ヲ	3・6・13・14・21・23・32・38
カエル	27		40・48・48・53・55・56・65・66
かみ(神)			67・68・82・85・87・94・96
神	68・71・74・77・91・95	く(ヲ)	55・67
かみげ(神下)		をかし(形容詞)	
神下	96	ヲカシキ	33
かみげはやぶし(神下早節)		をしふ(教)	
神下ハヤフシ	97	ヲシエ	22
きりびやうし(切拍子)		ゝ(ヲ)シエ	65
キリヒヤウシ	94	をしま(雄島)	
きりまちのぶ(切待蓮)		ヲシマ	61
切待蓮	79	をば(助詞)	
くせまひ(曲舞)		ヲハ	29・44
クセマイ	83	をりをり(折々)	
くる		ヲリく	18
クル	14・14・19・37・56・71・79・79	く(ヲリく)	18
	80・80・86・94・96・96・96	□□	
くるくる			

タキ、	11	クルクル	14
たつ(立)		げ(下)	
立	34	下	16・26・39・51・69・72・81・82
つれたるひと(連人)			89・89・92
ツレタル人	10	げうたふ(下謡)	
て(助詞)		下ウタウ	18
テ	34・34・92	下哥ウ	48
どう(同)		げどうおむ(下同音)	
同	59・61・61・71・96・97	下同音	94
どうあげ(同上)		ことばさねかた(言葉実方)	
同上	96	コトハサネカタ	9
どうおむ(同音)		さしごと(指事)	
同音	37・48・55・72	□□事	4
どうおむうたふ(同音謡)		さしごゑ(指聲)	
同音ウタ□	7	サシコエ	15・81・91
同音ウタフ	78	サシ聲	68
どうおむまちきり(同音待切)		さしごゑじょう(指聲尉)	
同音待切	62	サシコエセウ	12
とむ(留)		さね(実)	
トム	27	サネ	21・23・28・31・32・40・41・44・45
ながく(永)			47・54・54・75
永	72・94・96・98	さねかた(実方)	
にく(二句)		サネカタ	2・72
二句	14	さねかたことば(実方言言葉)	
にさむにん(二三人)		サネカタコトハ	21・52・58・65
二三人	2	しかしか(然然)	
になふ(担)		シカク	64
ニナウ	11	しだい(次第)	
のぶ(延)		次第	3・55
菟	56・62・70・83・86・87	じょう(尉)	
ノフル	98	セウ	21・22・24・30・31・35・41・42
べし(助動詞)			44・46・47・53・54・60・61
ヘシ	2・11・27・34・90・93	セウ(衍字か)	47
まち(待)		じょううたふ(尉 <sup>マ</sup> )	
待	79・89	セウ <sup>マ</sup>	59
まちげ(待下)		じょうことば(尉言葉)	
待下	89	セウコトハ	39
まひあるべし(舞有)		たいこ(太鼓)	
舞アルヘシ	90	大コ	90
まふ(舞)		たきぎ(薪)	

舞	93
わかいつせい(和哥一聲)	
和哥一聲	94
を(助詞)	
ヲ	11・27
をかし	
ヲカシ	64
(かねこ あきら・本学教授)	
かねこ はるか・かわの えり・さか	
もと はるな・さの かやの・たけう	
ち かおり・みのわ あやの・みやじ	
えみ	(以上 博士前期課程修了)
あきもと かおる・しまもと あや	
	(以上 修士課程修了)

